

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
救急医療体制の対応日数		365日/年	365日/年					365日/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	365日/年	・令和4年度 関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。 ・5年間(対象期間) 関係自治体・医師会等と連携し、救急医療体制を維持している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	365日/年	関係自治体・医療機関等と連携し、救急医療体制を維持している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

ア. 救急医療体制の確保

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
休日救急体制の対応日数		72日/年	72日/年					72日/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	72日/年	・令和4年度 救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び、網走休日急病センターを運営するほか、24時間電話サービス事業にチャットボット機能を追加し、相談しやすい体制を構築した。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	72日/年	救急医療を確保するため、医療従事者の確保対策事業及び、救急外来で対応している。				引き続き、持続可能な救急医療体制の確保に取り組む。		
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
産科医療機関数		3施設	3施設					3施設
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	2施設	・令和4年度 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。 ・5年間(対象期間) 公的病院等の運営支援及び医師・看護師・薬剤師確保等の取り組みを実施している。				持続可能な産科医療体制の確保に取り組む。		
斜里町	1施設	妊娠34週までの妊婦検診を主に行っている。				持続可能な産科医療体制の確保に取り組む。		
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

イ. 小児科及び産科医療体制の確保

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
小児科医療機関数		6施設	6施設					6施設
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	・令和4年度 開業医誘致制度等により、小児科医療体制確保に向けた取り組みを実施している。 ・5年間(対象期間) R1に1医療機関の廃業があったものの、R2に1医療機関の新規開業があり、現状を維持している。				持続可能な小児科医療体制の確保に取り組む。コンビニ受診や重複受診を抑制することにより、医療機関の負担軽減を図る。		
斜里町	2施設	町内医療機関や医育大学等との連携を強化し、小児科医療機関受入体制を維持している。				持続可能な小児科医療体制の確保に取り組む。		
清里町								
小清水町	1施設	小清水赤十字病院に開設された小児科が安定的な運営が図られるよう財政支援を行っている。令和4年6月より、通常診療が火・水・木(第2・4のみ)に縮小されたが、引き続き安定的な運営が図られる体制づくりを支援している。				子育て世代が安心して暮らすことができるよう、小児科医療体制の維持・確保に取り組む。		
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(2) 広域観光

ア. 観光振興の推進

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
女満別空港利用者数		46.8万人/年	73.4万人/年					100万人/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	73.4万人/年	各種団体などと連携した取組を通じて空港利用者数の増加に取り組み、また、積極的にピーチアビエーション(成田線・関西線)の認知度の向上を図る施策を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の減退から回復基調にあるため、インバウンドの増加等によりR8には目標値を達成できる見込みである。				女満別空港民間委託の受託事業者(北海道エアポート)や女満別空港整備・利用促進協議会、ひがし北海道空港間の連携、地域連携DMOなどと連携し利用促進・利用者数の増加を図る。		
斜里町								
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(3) 教育

ア. 生涯学習の充実

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
ICTを活用した広域講座開催数		3回/年	3回/年					8回/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	0回/年	東オホーツク定住自立圏の構成自治体間ではICTを活用した広域講座の開催はできなかったが、北海道などが主催するオンライン講座や研修会に参加した。網走市教育委員会主催の講座においては、会場参集型以外にもオンライン参加やアーカイブ配信した講座も実施した。				東オホーツク定住自立圏の構成自治体で構成する網走ブロック社会教育主事等研修会等の協議の場において、ICTを活用した広域的な講座開設の可能性について研究していく。		
斜里町	2回/年	遠隔地からの講師により、関心の高まる講座を開催し、地域とのつながりについて学ぶ取り組みを行っている。				他自治体と連携を図りながら広域講座実施に向けた取り組みを進める。		
清里町	0回/年	広域講座開催について未実施。				今後に向けて開催していく予定。		
小清水町	0回/年	実施に向け検討したが、実施には至らなかった。				今後は、近隣自治体と協議しながら、どのような取り組みが良いか検討していく。		
大空町	1回/年	R4年度は情報弱者であるシニアに向けてスマホ教室を実施。				誰もがスマホやタブレットを扱い、充実した生活を送れるように、情報弱者に向けた講座を、携帯会社などと協力し定期的に実施する。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

ア. 地域ぐるみによる環境関連活動の推進

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・自治会主催の地域美化活動の実施回数		346回/年	376回/年					371回/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	201回/年	地域環境美化協定の募集を広報で行い、ボランティア清掃活動及び地域美化活動への支援についてのホームページを更新し、周知を行った。				あばしりごみ通信等を通じてポイ捨てごみゼロを目指し、地域美化活動の実施回数増加に努めていく。		
斜里町	55回/年	継続した地域美化活動の取り組みを行っている。				目標達成に向け継続した取り組みを進める。		
清里町	4回/年	ごみゼロ運動を始めとした清掃活動を実施している状況。				継続して実施していく。		
小清水町	62回/年	年2回のゴミゼロクリーン作戦、自治会連合会による花いっぱい運動、各自治会による資源リサイクル活動59回が実施され、地域の美化活動に寄与した。				ゴミゼロクリーン作戦、花いっぱい運動を継続するとともに、資源リサイクル活動を推進していく。		
大空町	54回/年	新型コロナウイルス感染症が収束に向かい、単位自治会で環境整備事業も再開されつつある。				自治会連合会・自治会女性部連絡協議会などの関係団体との連携をより一層強化し、住民の美化意識の向上に努める。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(4) 環境

イ. 生活環境・衛生環境の向上

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
汚水・汚泥処理施設を維持		10施設	10施設					8施設
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3施設	・令和4年度実績 汚水量(全体)4,566,043m ³ /年 内 大空町(女満別)400,067m ³ /年、大空町(東藻琴)152,916m ³ /年 ・令和4年度実績 汚泥量(全体)2,524.1t/年 内 斜里町784.1t/年、大空町210.7t/年				人口減少等に伴い汚水流入量が減少傾向にあるため、今後も施設の継続的な維持管理に努める。		
斜里町	2施設	・令和4年度搬入実績 し尿:791,000ℓ 汚泥:1,189,000ℓ				今後も施設の維持管理に努める。		
清里町	2施設	汚水量149キロリットル。				汚水量が減少傾向にあり、今後も施設の継続的な維持管理に努める。		
小清水町	3施設	小清水町全体の汚水量は330,137m ³ /年（うち 小清水地区の汚水量297,913m ³ /年、浜小清水地区の汚水量22,108m ³ /年、止別地区の汚水量10,116m ³ /年）				年々人口の減少に伴い、汚水量も減少傾向にある。今後については、最適整備構想や経営戦略を考慮しながら維持管理に努める。		
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(5) 防災

ア. 防災対策活動の推進

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
1市4町連携体制確立のための意見交換及び合同研修の実施			1回/年	1回/年					1回/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	1回/年	令和5年2月9日(木)に1市4町の防災研修会を行った。					引き続き合同研修などの場において情報交換を重ね、各関係機関との連携に努めたい。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
中心市における子育て支援センター登録組数			7組	7組					35組
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】			
網走市	7組	子育て支援センターで毎月発行している「しえんせんたー通信」の市公式サイトや公式LINEへの掲載などにより、登録がなかった地域からの利用者は増えたが、目標値には至らなかった。				4町の子育て支援センターに対して「しえんせんたー通信」の掲示依頼や利用者へのお知らせメールや公式LINE登録のお願いなどにより、利用促進に努める。			
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
基幹相談支援センター新規利用人数		65人	66人					90人
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	30人	センター全体の新規利用人数は、月平均でみると令和3年度とほぼ同数となっているが、「本人」からの相談件数が増加しており、障がいがある方に対しては、センターの認知度が徐々にではあるが、高まっているものと思われる。				圏域自治体が設置を進める「地域生活支援拠点」について、基幹相談支援センターを設置後の総合的な相談窓口とするための取り組みを行っていく。		
斜里町	17人	令和3年8月より網走市、斜里町、清里町、小清水町、大空町の1市4町の広域で、「斜網地区障がい者基幹相談支援センター」を開設している。				斜里福祉会が担うサテライト機能を支援し、住み慣れた地域で障がい者支援を受けられるまちづくりを推進する。		
清里町	7人	令和4年度の相談実績は7人であった。				今後も継続して実施していく。		
小清水町	7人	令和3年8月に1市4町により設置し、障がいのある方やその家族からの相談に応じるとともに、各市町の相談支援事業所等に対する支援等を行い、地域の相談支援の中核機関として総合的・専門的な相談支援を実施している。				1市4町の単位で地域生活支援拠点の整備を図ることとし、その拠点機能を基幹相談支援センターが担い、拠点の持つ機能の具体について検討を進めている。		
大空町	5人	令和4年度における相談件数は、総数で919件でした。月平均では77件と令和3年度と同数となっています。また、新規相談件数も、月平均で6件と令和3年度と同数となっていますが、「本人」からの相談件数が大幅に増加しており、障がいがある方に対しては、センターの認知度が徐々に高まっているものと思います。 また、新型コロナウイルス感染症による行動制限等も緩和されてきたことから、各種研修や会議も対面での開催が多くなり、とりわけ、域内自治体の自立支援協議会への参加を通じて、それぞれの自治体での地域課題の把握にも努めています。				域内自治体や関係機関と連携して、個別困難ケース等への対応や地域課題把握と解消策の検討等を行っていきます。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(6) 福祉

ア. 福祉サービスの向上

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
認知症サポーター養成人数		8,053人	8,382人					9,348人
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3,746人	平成28年度より認知症サポーターに係る事業として「網走市認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始しており、平成29年度には個人申込みにより参加できる認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。				引き続き、認知症サポーターの増加を図り、認知症の理解や関心を高め、認知症の人がいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
斜里町	1,949人	全国キャラバン・メイト連絡協議会にて認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。				引き続き、認知症サポーターの増加を図り、認知症の理解や関心を高め、認知症の人がいつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
清里町	311人	令和4年度は認知症サポーター養成を行っていなかった。				令和5年度においては養成を予定している。		
小清水町	1,020人	平成24年度より認知症サポーター事業を開始。平成28年度より「小清水町認知症サポーターのいるお店登録事業」を開始。平成30年度より、町内医療機関、図書館、商店等を共催により認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。				共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行に合わせ、認知症サポーターの増加を図るとともに、認知症の理解や関心を高め、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って、いつまでも住み慣れた地域で暮らすことができるまちづくりを推進する。		
大空町	1,356人	職域との連携を図るため、例年よりも養成講座を多く実施した。また、大空高校で福祉を選択している学生を対象に実施したことで認知症カフェの実施前の学びにつながったと考えられる。				チームオレンジの設立に向けた認知症サポーターステップアップ講座の開催を目指すため、町主催の養成講座は各地区1回のみとし、それ以外は依頼があったときに開催することとしています。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ア. 圏域経済の活性化と雇用の創出

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
自治体・会議所(商工会)が支援した起業・創業数(累積)		17件	27件					72件
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	12件	市の起業関連補助金を活用し起業に至った事業者は6件となり、目標値に向けた進捗状況はおおむね順調である。				引き続き制度の周知に努めるとともに、商工会議所と連携した創業相談体制を維持することにより経済の活性化を図る。		
斜里町	5件	ビジネスサポートを34件実施したが、令和4年度の起業・創業には至らず、これまでの実績は5件となっている。				今後も新製品等の開発や販路拡大、起業支援などに取り組むとともに、企業誘致による新たな雇用創出や女性の就労機会を増やす取り組み、高齢者の雇用機会の創出などに引き続き取り組む。		
清里町	5件	令和4年度では惣菜店1店の起業補助を行った。				今後も継続して補助を行っていく。		
小清水町	1件	平成27年度より空き店舗等を活用し商業を営もうとする者及び既に商業を営む者で継続して魅力ある店舗づくりを促進する者に対し、設備投資等への必要な補助金を交付することを目的として補助金制度を創成し、平成30年度に新規起業をより一層促し、町の商業活性化を図るために補助要件を緩和する改正(町外事業所を対象とするためのただし書き追加、町外事業所の補助率の追加)を行っている。				令和4年度中に上記補助金制度の大幅な見直しの検討を行い、令和5年度より補助率、補助金等の拡充を実施し、新たな起業の支援を図ることとしている。		
大空町	4件	役場内の移住定住支援室や、商工会との情報共有の中で、新規起業先に対し支援を実施してきている。				今後においても移住定住支援室や商工会との情報共有を行う中で、今後における新たな起業先に対し支援するとともに検討している先に対しても積極的に起業しやすいような環境づくりができるよう取り組んでいく。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

イ. 水産資源の確保

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
シジミ漁獲量		534t	318t					650t
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	318t	R4については、シジミ漁獲量は対前年比60%となった。シジミ産卵不振などによる資源減少から生産計画を減産した。				近年、湖内環境の変動により産卵不振が続く等の要因で資源量が大幅に減少していることから、漁獲調整を継続している。この問題については、関係機関により対策を検討するとともに、引き続き網走湖の環境及び有用資源に関する調査を実施していく。		
斜里町								
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

イ. 水産資源の確保

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
サケ漁獲量		10,266t	19,473t					13,900t
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	7,711t	R4については、サケ漁獲量は対前年比148%となり、目標値を大きく上回った。				継続して目標値を達成できるよう、引き続きサケ資源の安定化に係る稚魚調査、遡上調査等の事業を実施していく。		
斜里町	11,762t	昨対比2.3倍と回復傾向にある。				さけ資源の回復を図るための調査や環境保全対策を関係機関と連携し強化を図る。		
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
新規農業参入者数(5ヶ年累積)		35人	6人					41人
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1人	農地の確保等環境に依拠する部分はあるが、希望者への支援制度紹介等を進めている。				新規農業参入者支援事業を進めるほか、就農者を支援する制度を周知していく。		
斜里町	4人	関係機関(町、農協、農業改良普及センター、農業委員会、地域農業者)との情報共有を図っている。				優れた農業経営者又は地域リーダーを育成するため、農業後継者及び新規農業参入者の確保を図る。		
清里町	0人	令和4年度の新規農業参入者数は0人であった。				新規参入者に対する支援を継続していく。		
小清水町	1人	経営開始直後の新規就農者に対し支援金を交付し、農業経営の安定化に寄与した。新規農業参入希望者の相談は無かった。				経営開始直後の新規就農者に対し支援金を交付することで、農業経営の安定化に寄与する。新規就農相談があった際は、町、農協、農業改良普及センター、農業委員会などと情報共有を行い、円滑な就農の推進を図る。		
大空町	0人	法人化して第三者継承するケースを現在進めている。				上記の件をモデルケースとして新規参入者確保を検討したい。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
農林業の鳥獣被害の減少		—	—					鳥獣被害防止 計画による
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	38,418千円	有害鳥獣による農林業被害の軽減を図るため、鳥獣被害防止対策及びハンター数維持の施策により、有害鳥獣の捕獲数は高水準で維持しているが、国有林内での銃猟規制などにより個体数が増加している影響もあり、農業被害の減少に至っていない。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)37,400千円 → 目標年(R6)33,660千円				鳥獣被害防止対策事業を継続し、国有林内での銃猟規制の緩和を要望するなどして、有害鳥獣の個体数を削減し、農業被害の軽減を図ります。		
斜里町	31,904千円	農用地への侵入防止対策(捕獲・駆除、防護柵の点検等)を実施 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)13,642千円 → 目標年(R5)12,960千円				鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図ります。		
清里町	11,086千円	令和4年度の鳥獣被害額は11,086千円であり、7割近くがエゾシカによる被害である。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R3)11,114千円 → 目標年(R6)8,446千円				鳥獣による農林業被害を減少に向けて継続して事業を実施していく。		
小清水町	128,449千円	新たな取り組みとして、エゾシカの個体数の削減を目的に、農業被害の多い1地区に自動落下式ゲートを使用した小型囲いによる捕獲を行った。 捕獲適地の抽出、地形や環境に即した行動特性の把握をし、地域ぐるみで対策を進め、中長期の視点で継続的に取り組んでいる。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R2)84,934千円 → 目標年(R6)76,441千円				鳥獣による農林業被害を減少させるため、鳥獣被害防止総合対策事業などを継続して実施し、駆除することで被害額の減少を図っていく。		
大空町	44,093千円	エゾ鹿の捕獲頭数は、R3:193頭に対してR4:248頭と対前年比で26%増加しているが、エゾ鹿の増加を止めるに至っていない。 【鳥獣被害防止計画】基準年(R3)40,770千円 → 目標年(R7)32,616千円				・電気牧柵の活用推進及び正しい設置管理に励行 ・猟友会ハンターに対する手当及び弾丸等経費の支援		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
Gp確認ほ場すべての検出限界以下を目指す		330ha	179ha					0ha
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	179ha	令和4年度の防除により、圃場全面で防除作業が完了した圃場で土壌検診を実施した結果、46圃場(154ha)で検出限界以下を確認した。なお、新たに1圃場(3ha)でGpを確認した。 ※Gp確認圃場911.5ha(220圃場)のうち令和4年度までに831.2ha(202圃場)が検出限界以下(面積割合で91.2%)。				国・北海道と連携し、Gpの緊急防除に取り組むとともに、蔓延防止対策を行う。		
斜里町								
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

I 生活機能の強化に係る具体的取組

(7) 産業振興

ウ. 農林業振興の推進

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
農業用水の安定確保(畑地かんがい面積の維持)		20,229ha	20,205ha					20,229ha
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	3,733ha	農業用水の安定確保のため、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設(緑ダム等)の維持・管理を行っていく。				引き続き、1市4町で連携し、国営畑地かんがい事業施設(緑ダム等)の維持・管理を行う。		
斜里町	3,238ha	適正な維持管理の実施				受益者ほ場の干害、風害防止や農業活性化を図るため国営畑地かんがい事業施設(緑ダム、頭首工等の共用施設)の維持・管理を行う。		
清里町	4,894ha	緑ダムによりかんがい用水の確保を行っている。				今後も継続して実施していく。		
小清水町	6,403ha	小規模で受益地の公共転用等があったが、近隣農地へ受益地の移動を行い面積の確保を行なった。				R6年度の水利権更新に向けて今後も受益面積の確保を図っていく。		
大空町	1,937ha	道事業・町事業を利用し末端施設の更新				拡大や老朽化が進んでいる施設等の更新		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

ア. 地域公共交通の維持・確保

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
日常生活圏域内における中心市を介して往来可能なエリア数		7エリア	7エリア					7エリア
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	7エリア	自家用車に依存した生活が定着しており、路線バスなどの公共交通機関の利用者数が減少している状況である。 ※7エリア:大空町女満別、美幌、斜里、清里、小清水、大空町東藻琴、常呂				各路線の乗降状況や運営状況などを把握するとともに、新たな交通手段についても研究しながら地域公共交通路線を維持できるように引き続き検討を行っていく。		
斜里町								
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

ア. 交流・移住受入体制の促進

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
お試し暮らし体験数		13件/年	39件/年					17件/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	1件/年	市公式サイトにおける移住情報の発信など周知を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。				引き続き、制度周知に努めるとともに、より効果的な取り組みについて検討する。		
斜里町								
清里町	24件/年	令和4年度においては24件の実績あり。				今後も継続して実施予定。		
小清水町	5件/年	お試し住宅1棟を夏期・冬期料金を設定し運用している。6月～9月4件、11月1件の利用があった。				引き続き、制度周知に努めるとともに、より効果的な取り組みについて検討する。		
大空町	9件/年	コロナの規制緩和もあり、昨年度より利用実績が増えている。				お試し暮らしから移住につながる例が少ないことから、令和5年度は体験ツアーなども組み込み、実際の移住に向けたイメージ作りや準備期間として有効に利用していただけるような取組みを進める。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

イ. 交流人口の拡大

成果指標 (KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
スポーツ合宿参加人数		823人/年	1,196人/年					1,881人/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	983人/年	R3は新型コロナウイルス感染症の影響下にあったものの、新たに女子プロサッカー1チームの合宿があり、微増に留まった。R4も続く新型コロナウイルス感染症の影響の中、新たに女子プロサッカー2チームの合宿があり、同じく微増に留まった。R5はラグビーの新リーグの日程が1月から5月となったことから、新たに男子プロチーム1チーム及び大学1チームの合宿と、引き続き女子プロサッカー3チームが合宿を予定しており、増加を見込む。				引き続き、合宿競技の関係者と積極的な交渉・協議を行い、要望等を整理しながら誘致活動を継続していく。特に、ラグビーはリーグ開催時期の変更に伴い網走での合宿最盛期までの復調が見込めなくなったが、誘致活動は今後も続け今後の可能性を探る。		
斜里町	116人/年	合宿誘致実行委員会が中心となり、合宿誘致事業に取り組んでいます。合宿事業の支援を行い、地元の協力者や関係機関と連携し、スムーズな合宿環境を整える役割も果たしています。				斜里町がスポーツ団体やアスリートたちの訓練拠点として注目され、地域振興や交流機会の創出になるよう合宿誘致事業を継続していきたい。		
清里町	29人/年	令和4年度は東大陸上部を誘致してスポーツ合宿を実施。				継続して実施していく予定(令和5年度は8/4～8/18実施予定で40名ほど参加予定)。		
小清水町								
大空町	68人/年	R4年度はコロナ禍後初となる合宿を実施をすることができた。R4年度は1団体が合宿受け入れを行った。				団体を受け入れている合宿実行委員会と教育委員会が連携を図り、より質の高い団体受け入れを行い、スポーツ教室を通じた町民還元を行う。		

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材の育成

ア. 人材の育成

成果指標(KPI)		R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
研修会等参加者数		97人/年	147人/年					110人/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】				【今後の取組】		
網走市	147人/年	人口減少社会において、人材育成に関する研修の助成を行っている。(建築技能者等地域定着促進事業:48人、網走職業訓練協会補助金:58人、若年技能者人材育成・地元定着支援事業:29人、中小企業人材育成補助金:12人)				今後も人材育成・人材確保事業を支援し、引き続き人材確保・地元定着の促進を図る。		
斜里町								
清里町								
小清水町								
大空町								

東オホーツク定住自立圏共生ビジョン 成果指標の達成状況について

Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア. 市町間職員研修交流

成果指標 (KPI)			R3 基準値	R4 実績値	R5	R6	R7	R8	目標値 (R8)
合同研修の実施回数			1回/年	1回/年					1回/年
市町名	R4実績値	【進捗状況】					【今後の取組】		
網走市	1回/年	職員の資質及び政策課題への対応力を高めるため、合同で政策形成研修を実施した。 (参加者: 網走市16名、斜里町5名、清里町5名、小清水町3名、大空町3名)					東オホーツク定住自立圏の構成自治体による合同研修を実施し、職員の能力向上や職員間の交流に取り組む。		
斜里町									
清里町									
小清水町									
大空町									